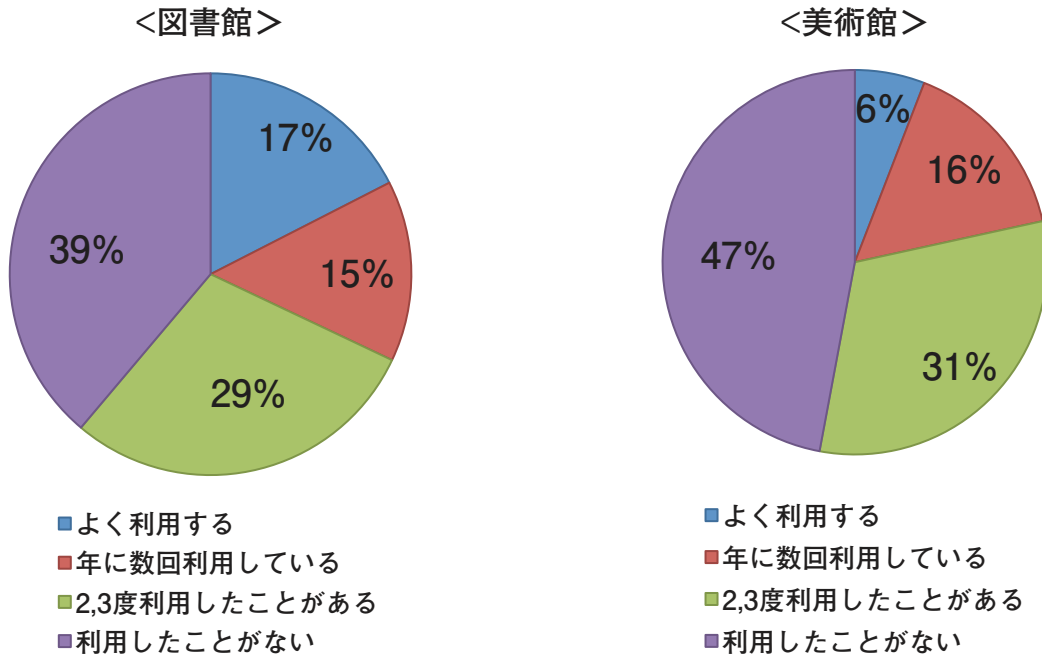


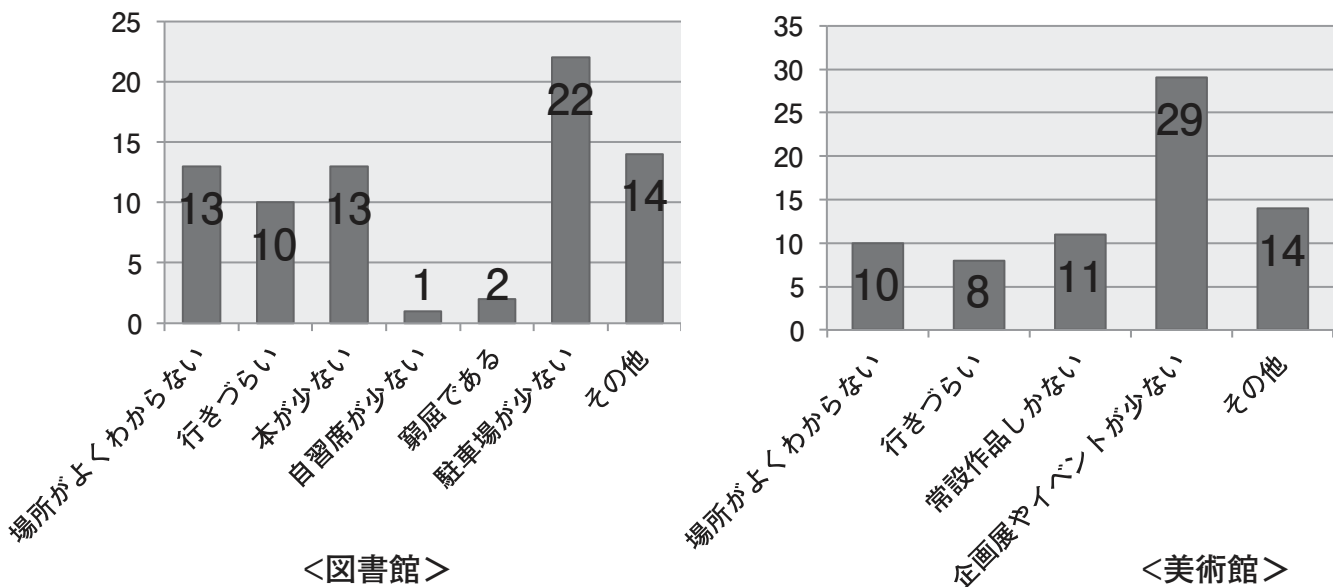
オーブンプラットフォーム会議 アンケート調査結果

回答者数：115

Q1. 現在、別府市図書館、美術館を利用していますか？



Q2. (利用しない方へ) 図書館・美術館を利用しない理由はなんですか？



- ・ 図書館を利用したことがない人が4割、美術館は半数近い。利用者の割合はかなり少ない。
- ・ 利用が少ない原因として図書館は、駐車場が少ないこと、美術館は企画展やイベントが少ないことがもっとも多い。その他は市外・県外が多数。

Q2. その他（自由回答）

1) 図書館

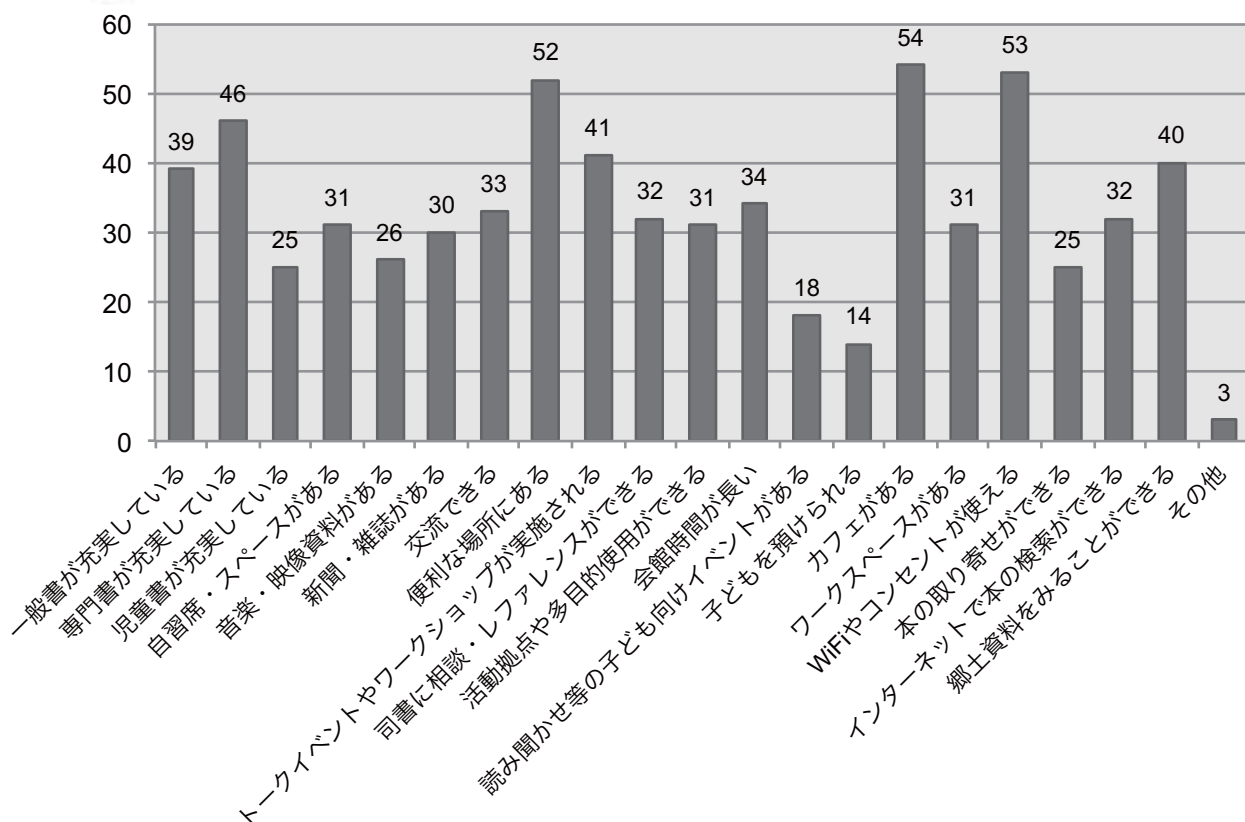
- ・ 宣伝をもっとしてほしい
- ・ 市外（日出町、福岡市 2、大分市 2、不明 10)
- ・ 大分県立図書館には行く 2
- ・ 蔵書が少ない
- ・ 良い本が少ない、調べ物をするための本も少ない
- ・ 勉強スペースで電卓の音を出していてもいけないと言われた
- ・ 書籍よりインターネットが便利だから

2) 美術館

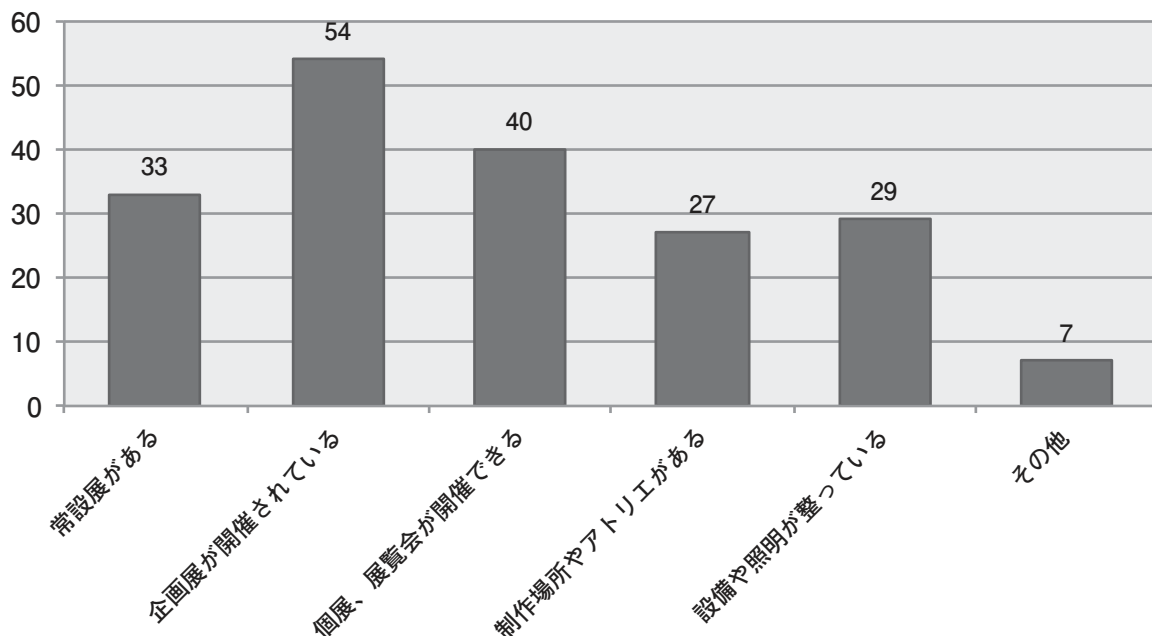
- ・ 良い絵がすくない
- ・ 宣伝をもっとしてほしい
- ・ 遠い 2
- ・ 料金が高い、別府市美術館はすごく安い
- ・ 市外（日出町、福岡市 2、大分市 2、不明 10)
- ・ 何かをやっているのか展示されているのかわからない 2
- ・ 惹きつける HP など広報もない。
- ・ 魅力に乏しい 3
- ・ 行ってみたいと思わない
- ・ 行く機会がない
- ・ 行きづらい
- ・ 作品を観てほっとできる、お茶ができる場所がない

Q3.どのような図書館、美術館であれば利用したいですか？

<図書館>



<美術館>



- ・図書館では、便利な立地、カフェ、WiFiやコンセント利用などが多く、子ども向けの本やサービスのニーズが少なかった。子育て層の参加が少なかったと考えられる。
- ・図書館の標準的な機能もさることながら、イベントやサービスへの期待が高い。
- ・美術館は企画展や個展利用など、常に入れ替わる展示への期待が高い。

Q3. その他（自由回答）

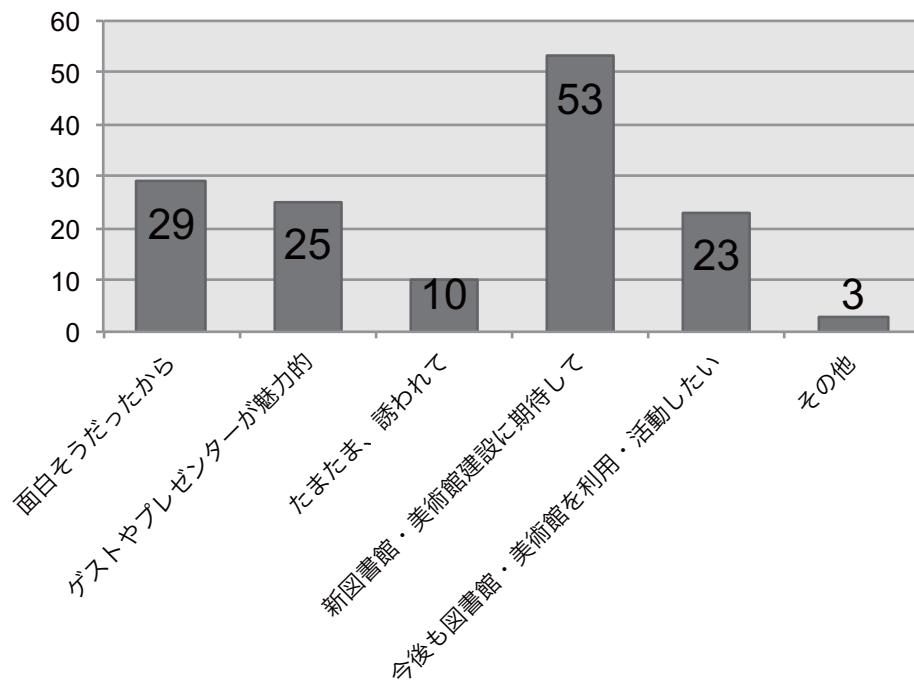
1) 図書館

- ・温泉関連学術資料とその実践講座・調査研究 2
- ・定期的なコンサートの開催
- ・VR
- ・建築的にもかっこいいデザインのアートの建物
- ・郷土資料を多くしたい
- ・ゆっくりと本が調べられる
- ・使いやすい設計（年齢、障害に配慮したもの）
- ・優秀な司書

2) 美術館

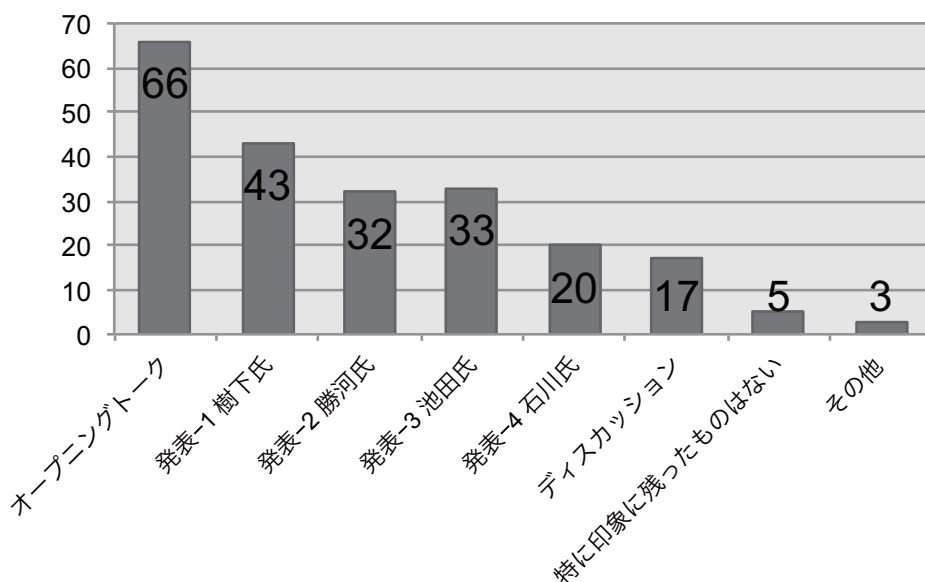
- ・工具、制作機器等の充実
- ・料金が安い（気軽に訪れる）
- ・ワークショップ 2
- ・気持ちのいい環境（庭園）
- ・展示は最小限で、イベントスペースで美術にこだわらないもの
- ・別府らしいもの
- ・レストラン、カフェ
- ・ギャラリーがあれば十分
- ・特色のあるコレクション、コンセプトをしっかりと打ち出している
- ・子ども美術館（触れる、遊べる）

Q4. 今回のオープン・プラットフォーム会議に参加した理由はなんですか？



- ・新図書館・美術館建設に期待する人が圧倒的に多かった。

Q6. 今回のOP会議で、特に印象に残ったプログラムはなんですか？



- ・オープニングトークが印象に残った人が圧倒的に多かった。一方、ディスカッションはあまり印象に残った人は少なかった。
- ・後半のディスカッション、全体の流れや時間配分を含めて、次回プログラムを見直す。

Q4. その他（自由回答）

- ・ 図書館、美術館、文化の充実は人生を豊かにする。
- ・ 今後の参考として
- ・ 住みよい楽しい街にしたいから
- ・ どのように進められているか知りたいから
- ・ ご縁があって
- ・ 近未来に公民連携の具体提案を行うため
- ・ 複合であることありきが納得できない。別々の良いものをつくってほしい。

Q6. その他（自由回答）

- ・ 若い人たちに大いに期待しています。
- ・ 住める図書館のインパクトが強かった
- ・ 異世代の意見があるとよかった
- ・ ディスカッションに老人を入れる必要あり
- ・ なにか図書館・美術館の整備ではなく、別府のまちおこしのための話のように思えました。
- ・ 今回の発表者の方には学生のとくに図書館で静かに本を読んだり、勉強したことがありますか？と問いたい。
- ・ 思っていたことと違っていた。
- ・ 司書も学芸員の発表のない図書館・美術館のオープンプラットフォーム会議はいかがなものでしょうか？

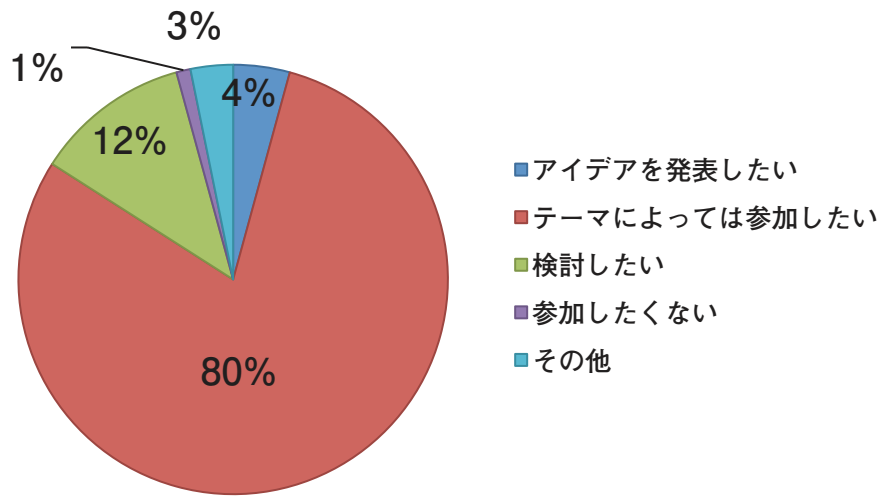
Q5. 図書館・美術館にほしい機能や設備がありますか？（自由記述）

- ・ 絵のない美術館、本のない図書館。24時間365日、人が集い、新しい価値／生き方を生み出す場が必要で「箱モノ」は必要ない。何のために本が必要だったかを考える時代（ITで情報は手に入る）
- ・ オープンスペースのような自由に使える空間
- ・ 起業相談＋コワーキングスペース 2
- ・ イベントスペース／ワークショップ 4
- ・ 市内各教育施設（大学）のサテライトルーム。それぞれのテーマに沿った資料や共通セミナールームなど。まちなか講義（学生）、市民講座の開催など。
- ・ 学校から飛び出した教室（学ぶことが学校の中で行われることと考える教師の固定概念を壊せる場所）
- ・ 子どもを健やかに育てるための優れた読み継がれてきたよい絵本や本を大切にした図書館。児童書に詳しく、ちゃんと紹介できる司書のいる図書館。
- ・ 乳幼児をつれた親、学生、退職した方などそれぞれが楽しく過ごせたり利用したりできる部屋。
- ・ 子どもを預かる施設、学生たちのための夜間学習スペース、面白い司書（ボランティア司書（現行）の方も親切）。
- ・ 止まり木的な場所
- ・ 地場 IT ベンダーの出展スペース、実証実験の場、AI等を活用した新しいサービスが生まれる場
- ・ 不登校児・生徒が集えるキャンパス。不登校の子どもたちが図書館で夢を育てる、夢をみつけれられる機会を？
- ・ 行く度になにか一つ得（徳）したなと感じられる機能や設備（具体的には？）
- ・ 温泉関連資料室（観光客も楽しく学べるもの）
- ・ 広く開放的なスペース 2
- ・ 堅苦しくなく、ゆったりとできるスペース
- ・ ビデオシアター、動画スペース 2
- ・ 足湯、温泉 10
- ・ 広場 3
- ・ 緑に囲まれた環境、庭園 3
- ・ 佐賀の武雄図書館はよかった
- ・ レストラン、カフェ 12
- ・ 説明コーナー

- ・土産物店、産直物販
- ・宿泊施設 2
- ・DVD や CD の貸出
- ・美術の基礎知識が学べるコーナー
- ・（広大な、十分な）駐車場 4
- ・バス停
- ・授乳室やおむつ台等充実したこども用の設備
- ・読み聞かせ、おはなし会などができる部屋（定期） 4
- ・司書／説明・解説してくれる職員がいて、気軽に声かけできる人がいると一層深まる。フリートークの場所、機会、勉強会を定期的に開催
- ・レンタル個室
- ・託児保育機能
- ・早朝、夜使える自習スペース
- ・別府はもちろん、大分、九州の歴史と文化を知れる常設展、企画展
- ・常設の展示等に対して学校の児童・生徒が直接社会見学などの形でも教材として利用できるような雰囲気づくり。そのほかにもそれを説明できる学芸員がいればいい
- ・展示しっぱなし、置いてあるから見ればという雰囲気では芸術は育たない
- ・ラボ 2
- ・大分市からの直通バス
- ・ふれあえる施設
- ・科学博物館、歴史資料館、工芸学校、映像資料館、プラネタリウム、ライブハウス
- ・司書（専任）館長（専門に詳しい方）人材だけは豊かに。
- ・旅行者がホテルに本を持ち出せるサービス（市民利用だけでない）
- ・絵を描けるスペース
- ・24 時間営業
- ・入りやすい雰囲気（若者だけでなく、高齢者、子どもにも）
- ・博物館、資料館、歴史民族資料展示、公文芸館、多様性があってもいい
- ・図書館の児童コーナーの中に授乳スペース（上の子を見ながらおっぱいやミルクをあげられる。県立図書館は図書室外にあり、大変不便）。本の取り寄せだけでなく学術文献も。オスメイトトイレ。
- ・子供向け、外国人向けの別府の歴史を紹介。街中に本のモニュメントを設置。
- ・古本市、本の交換市の開催。

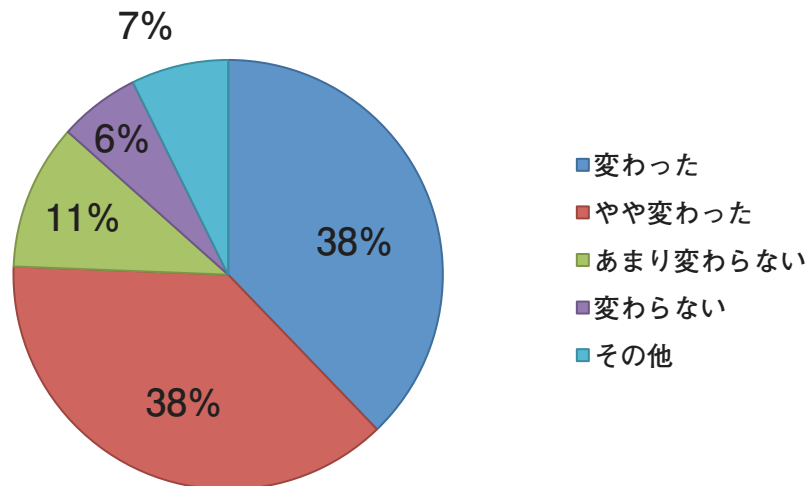
- ・ バリアフリー、視覚・聴覚障害者でも使えること
- ・ コミュニティスペース 1
- ・ フランスのポンピドーセンターのような図書館×美術館×カフェ×広場が一体となった総合的な文化施設。ポンピドーセンターのように巨大である必要はなく、小さくても内容が充実した空間が別府にできたらいいと思う
- ・ 新徳山駅図書館のようなアクセス。
- ・ 美術館は別府ならではのオリジナリティ。アクセスよりも内容。
- ・ ブックカフェでは困る。外見だけがよい箱はいらない。多くの駐車場、バリアフリーであること。開架のスペースが広いこと。児童室がある。
- ・ 基本的な機能がまずは備わっていること。基本的な図書館・美術館の働きがまずなんでもあること。その上でその他のものがあるべき。ただのイベント屋の建物、ただの人寄せの場ではないものを望みます。
- ・ 芸術と多くの市民が足を運ぶ、癒やされる施設であれば。
- ・ 竹工房・工作DIY教室、ドローンスクール、外国語教室等各種セミナー
- ・ 子どもがいつでもアート体験できる施設
- ・ ディスカッションできるスペース
- ・ 砂場、アトリエ、台所

Q7.今後もOP会議に参加したいですか？



- ・「参加したい」という項目が漏れているが、「テーマによっては参加したい」が8割を超えた。
- ・ほとんどの方が継続的なOP会議を期待している。
- ・アイデアを発表したいという人はまだまだ少ない。主体性の醸成が必要。

Q8.図書館・美術館のイメージは変わりましたか？



- ・「変わった」「やや変わった」が75%を超えた。
- ・従来の図書館・美術館とは異なるというイメージ共有は概ねできたと考えられる。

その他、気づいた点

- ・従来の図書館・美術館を求める声も見受けられるが、別府らしさ、新しい図書館・美術館を期待する声も多い。
- ・市外、県外の参加者も1割以上見受けられ、外部（特に企業）からの注目度も高い。

Q7. その他（自由回答）

- ・アイデアを聞きたい（色々な立場の）今回は同世代、同感覚の人々だったので、いろんな世代の考えが聞きたい。
- ・テーマによらず参加したい。
- ・コンスタント（月1~2回に1回）実施してほしい。
- ・討論の内容次第
- ・どのようになっていくのか見届けなければならぬと考えています
- ・16日のような抽象的なトピックのパネルディスカッションを傍聴する場合は不要。具体的課題の意見交換の場なら参加。
- ・企業色が強く、利用者の意見が通りにくそうな雰囲気だった

8. その他（自由回答）

- ・別府市が変える
- ・あくまでアイデア、イメージ。これをどう実現に向けて収束していくか。
- ・変わるほどの内容ではなかった
- ・ちゃんとした図書館ができるのか不安になってきてしまいました
- ・変わらなければいけないのでしょうか？

Q9. その他、図書館・美術館一体的整備に対してのご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

・よくあるシンポジウム、パネルディスカッションとは違う興味深い会議だった。若い人材の発表社が個性的な発想がユニーク。ディレクター馬場氏の進行・まとめがスムーズでよい。目からうろこ。

・奇をてらった施設になる必要はないと思います。若者だけの施設であっても意味がないと思いますが、図書館・美術館の本来的機能をしっかりと発揮できて、公共施設の宿命として多くの市民に利用される機能も予算が許せば併せて整備すれば良い程度のものでと思います。図書館・美術館の一体的整備というテーマに沿った議論は十分なのでしょうか？既存の美術館の隣接地を活用するという現実路線を選択するのが予算的にも、場所的にも市民からの理解が得やすいプランとは個人的には思いますが、市長の議論をオープンにしていく姿勢は大賛成です。良いことですね。

・新しい図書館には、ぜひ温泉資料館を併設してほしい。ここにいけば別府温泉のことがわかるという施設。なぜ今までないのかが不思議。市民にも観光客にとっても必要な場合によっては観光スポットにもなるようなものを。私たち市民が望む図書館は、読みたいけれど高価な本とか絶版になって手に入りにくい本が借りられる場所。いろんな雑誌が自由に読める場所。ない本は全国の図書館と連携して貸してもらえること。よく勉強する専門的な司書さんをおいてほしい。

・古い概念がとっぱらわれた。新しいものが生まれそうな気がするし、生まれてほしい。

・発想の転換は必要だが、基本的な既存ベースとなる図書館・美術館的要因、要素は最低限必要なのではないか。その基盤の上にこそ本日提案の図書館・美術館らしい「変態」集合のものが生み出し創造できるのではないか。

・一体化がいいか悪いかわかりませんが、市民や学生、観光客のみなさんが必要な機能を望みます。

・市民が与えられる場所から気づきと創造の場へ。開かれた大学キャンパスの

ような空間。「一体的整備」とはどんな内容かを早期に市民に示すべき（複数案あってもよいので）理想的、抽象的な議論も大事（ミッションやコンセプトづくり）だが、一方で敷地、規模、機能、運営といった具体的な案を提示しつつ議論すべき。要件定義（市が提示するもの、委託事業者が検討するもの、市民の要望を反映させるもの）を区別して市民に示す。何でも使える空間は運用を間違えらるとなんにも使えない空間になる。注意のこと。二兎追うものは一兎も得ずにならないように。別府の新しい文化の核になることを期待しています。

・新しい取り組みも大切だとは思いますが、図書館の役割（絶版になった本も図書館に行けばある、必要な本が見つかる、本探しに手にとって見やすい、困ったときにどんな本があるのか紹介してくれる司書がいる。子どもが静かにお話を聞ける部屋がある。静かで集中できる場所等）をしっかりとらせるものをつくってほしいです。建物の奇抜性ではなく、中身のしっかりした市民が使いやすいものにしてほしいです。図書館と美術館はそれぞれの役割があると思いますので、それぞれ自立したものであってほしいです。その上で、もちろん交流しながらいろいろな使い方を考えていけたらいいなあと思います。皆さんの提案は図書館、美術館ではなく児童館やコミュニティセンター？図書館運営にはちゃんと図書館の知識を持った人にぜひお願いしてほしい。その上でつながりをつくっててください。

・駐車場と広場がある。別府では①別府公園の前広場（上が図書館、下が駐車場）②市役所の上の松林③現美術館と男女参画センター④山の手中学校跡地（交通アクセス、広場、環境より）

・図書館、美術館は本に出会う場所。何かのきっかけ（市営温泉とのコラボ）、人生の何かを得られる、感動に出会う場所であることをたくさんの人に知ってもらえるようなものに。「この世界にはいろんな人がいるんだよ」と知ってもらいたい。本の中の人たちにも出会える。ぜひ変人（面白い人やオタクの人）の司書さんや美術館の職員さんを配置し、うんと子どもたちに声をかけたり、面白いを知らせてもらいたい。いい意味での変人やオタクを育てる場所であって、みんなと違っていい雰囲気であってほしい。

・人が集まる場所になってほしい。期待しています。

・コミュニティセンターをつくるのではないので、ちゃんとアカデミックな場

所にしてほしい。今のままだと不安です。

- ・学ぶしくみづくりの可能性がたくさんあることがわかりワクワクしました。

- ・図書館・美術館の定義を変えてほしい。

- ・私はこの企画はこれからのまちづくりのイノベーションになると思います。巨大な図書館、美術館をつくるより、別府市らしい地形、産業などをうまく取り込んで、別府八湯ごとに隣接して図書館をつくり、あえてジャンルなどを分け、機能性を楽しんでもよいと思います。例えば、血の池地獄には血にまつわるミステリー小説、医学専門図書館、坊主地獄には宗教・哲学系、竹瓦温泉には風俗系など、温泉地の他にはラクテンチは万国博やレジャー・観光学などに特化していく。人が歩く街をつくることによって、通常整備（バスを循環型にして利用者を増やしたり）が必要なのですが、この街にあるものを上手く活用していけば、人材育成確保も実現していくと思います。蔵書は閉まっているアーケード街を借りてもよいと思います。

- ・今の図書館は駅やバス停から遠すぎる。高齢者の利用者のことも考えて、公共交通機関から近い場所にしてほしい。利用者が図書や美術に対して自由に語り合えるスペースも必要である。若者の利用を促進するための電子書籍を借りられるなどはどうか？

- ・地域の利用ありきでない別府を訪れる全ての人が行きたくなる。その施設に行きたいから別府に来るようなものになればよいと思う。

- ・私は個人的に絵を描いていますが、息子が巣立って引っ越して部屋が狭くなり、絵を描けるスペースがありません。絵を描けるスペースが借りられたらとても嬉しいので、そのような整備を使ってほしい。あとコミュニケーションが取れるカフェがほしい。高齢化にもなるので、カフェの本や美術を持ち寄って集える入りやすいところになってほしい。

- ・観光都市の美術館・図書館としては現在寂しい限りです。文化レベルも同じく。若い世代の発想と運営による新しい施設に期待します。

- ・若い人の意見はとても面白く、これからは背負っていくのだから任せなきゃ

いけないと思います。しかし、現実には図書館というと、本と向かい、学生は勉強に集中できる場でなければならないと思います。温泉、観光と結びつけるという飛んだ発想でしたら、静かに読めるスペース、勉強に集中できるスペースを別に確保してほしいと思います。今日の話からすると図書館・美術館という名前を使うことを考えなければならない。

・開館時間は24時間じゃなくてもよいと思います。12時間（9～21時）くらいでも十分？もし24時間にするならば、自家発電や温泉熱発電など自然エネルギーで対応してもらえると理想的。一過性のものではなく、市長がおっしゃっていたように先人から今の方たちへ何かを「つなぐ」場になるとよいと思います。図書館で世界を知る、地元を知る、今後は少しコンパクトな会にして、月1程度、各エリアの温泉や公民館、市役所エントランスで進捗共有やアイデア共有ができると嬉しい。

・素晴らしい空間が誕生する予感を感じました。楽しみにしております。

・建物へのアクセス整備（ワンコインバス等）。人と人とのつながりを持てる建物。

・人を育てるのに本や美術は必須だと思います。気づきを与え、きっかけをつくり、人が集まり、物事がはじまる施設になってほしい。これからの別府を担っていく若い人を育てる施設になってほしい。

・一体化することは、人が集まる場所になり得ると思うので、それぞれの専門的分野の「館」を一体化するのではなく、人を真ん中に置いた施設づくり、手を伸ばせばそこには本がある、芸術があるような、子どもの元気な声あふれる複合施設。

・図書館として必要な機能があることが望ましい。外見ばかりにお金をかけ、内部が充実していないものでは困る。基本的な図書としての機能がないのでは図書館とはいえないと思う。美術館は常設で良い作品を見れると嬉しい。図書館と美術館は全く違うものなので、一体的整備はなくてよいのではないかな？なぜ一体的整備になったのか不可解。今日聞いた話では図書館として必要な機能はないものになりそうで、不安に感じました。新しい図書館が良いものになることを

祈っています。武雄図書館のようになってほしくないないと考えます。

・展示を学習し、のちに点訳ボランティアができるシステム、音読システムなど（昼や平日以外に夜や祝祭日も）司書養成講座のある別府大学の協力。必ずバス路線を充実させる。小学校～大学、公共の連携。LGBT に配慮し、トイレは男女別ではなく共用個室で。市のリサイクルセンターやシルバー人材センターも敷地が許せば1箇所にしてほしい。レンタルオフィス・レンタルスペース。働く世代に使いやすい時間、イベント等を考慮してほしい（平日、夜間）。土日開館を生かし、簡単な役所業務もできればよい（現在の公民館よりも業務内容を増やしてほしい、もしくは夜間延長営業）。外国の人に料理、語学を教えてもらい、その反対になにかしてあげるようなマッチングシステム、交流の機能がほしい（有償でも無償でも）。息子が野口コミュニティセンターで勉強しているが、もっと遅くまでやってほしいと言っている。

・本気でとんがった、でも市民にも外の方にも愛されるような図書館・美術館ができ、別府の向かうべき方向性としてシンボリックなクリエイティブな空間になることを求めたい。別府だけではなく、県外、海外からのクリエイティブ層と地域の人たちがつながるプラットフォーム的な「場」をこの街の特性としてやるべきと感じた。官・民・学（特にAPU、別府大）連携と九州の他のクリエイティブな組織とのネットワーク化ができる図書館・美術館。

・本当につくる気があるのか？と少し心配してます。人づくりの環境づくりは行政の仕事だと思います。「別府」に生きる人々の礎（心意気のこと）になるべく「場」的なものを求めます。「育てる」「進化」とか変わる前提に、振り幅のあるいかようにもなる適度なゆるさ、隙間をイメージしてほしいです。つくる場所が決まらないとどんな風にできるか実行感なくて、「どんな」をずっと議論するのか？場所次第でできない項目が発生するという流れは避けてほしい。

・箱モノはいらない。天下り先もいらない。稼げる公共空間にしてほしい。

・旧野口病院の建物は利用できないか。立地（交通の便）条件が良い。まわりに駐車場に利用できそうな土地がある。

・病院の近くにあるといい。ポスドクを住まわせればいいかもしれない。

・一体的整備、当該地の現状の地目、広さ、建ぺい率等を開示し、何が提案可能か、具現化へ至るイメージを高めていくことを考えるべき。本が電子化されていく未来（置き場に困らないコンテンツ）に置き換えられていくから、書籍に限って保管するスペースは現実的ではない。仮に私が全てのプロジェクトの権限がある見であれば、図書館・美術館を船に乗せます。必要に応じて旅をすることができる（クルーズできる）。もちろんお風呂は温泉、何種類かの泉質も体験できる。船は中古で OK。動けばよい。災害発生時には本船を派遣する。資金は派遣契約を受けた自治体から集めることをしてもいいのかな。別府へ災害疎開する方を本船で移送する（人口減も考えて）もっと煮詰めると楽しくなると思う。

・「住める図書館」というアイデアはおもしろいと思いましたが、「図書館に住まれている方」周辺の特定のコミュニティが強くなりすぎてしまうと、そのコミュニティにあまり関わりがない／あまり関わりたいと思わない一般的な方が図書館へ寄り付かなくなってしまうのではないかと、図書館のオープン性を制限してしまうのではないかと危惧します。市長や学長、APU の学生など特定の人が「その人の本棚」を期間限定で設置することで図書館の一角に一別府市民のプライベート空間を共有できるようなスペースは非常に面白いのではないかと思います。小、中、高校と子どもの頃は、本をどう読んでよいか分からず、読書感想文など本に対する苦手意識しかなかったのですが、コンセプチュアルアートなどアート世界に触れてから「言葉」に自発的に興味が持てるようになり、本を読むようになりました。文学、映画、アート等、切り離せれるものではないのかなと思うので、美術館×図書館+ α な総合的な空間を整備してほしいと期待しています。

・民間事業者の具体的なアイデアを多数集めたい。

・今までにない発想で面白かった。新しい施設に期待しています。

・開かれた美術館の構築の方がとてもむずかしいと思う。何か新しい形をつくれるお手伝いできればと思います。学生（中高生）のオープンディスカッションが聞いてみたい。学生の図書館・美術館目線を聞いてみたい。

・別府のいろんところでオープンライブラリー／ミュージアムができたらいい。内成の棚田で志高湖、朝見神社、そして温泉。全ての温泉に図書とアートを。

・APU と別府市街地を結ぶバスで図書館・美術館的機能をもたせることができな
いかと思います（先生による移動中講義とか）。別府大学では司書資格が取れま
すが（以前、共創戦略策定時に）、司書とは関係ない職についたり、市外県外に
就職する人が多いと聞きました。市内に司書資格をもった人が相当数いると思
うので、人材の流出防止の意味でもその人たちに働く場としての視点も必要か
と思います。

・公園を中心に図書館と美術館と、音楽が聞けるダンスができる空間などがあ
るとよいです。必ずセフティーを考える。住める図書館賛成。昼寝場所があつて
もいい。

・今日の話聞いて、そもそもの話、図書館じゃなくてもよいのではないかと思
う。現実とすごくかけ離れ過ぎていて、なるほどとは思わない。参加者の方（男
性）の意見が一番しっくりきた。美術館の話が少なすぎると思う。一体的整備つ
て？

・図書館が本来行うべきサービスを全うすることができる環境の整備が最優先
課題であり、この課題を解決する具体的な話がなく、本日の会議は期待はずれで
ある。地に足の着いた議論がほしかった。この会議は参加者をミスリードしたの
ではないかと心配である。

・図書館、美術館は子どもの頃から盛んに利用できるしくみづくり。（例）別府
読書の日、みんなで本を持ってきて別府公園で読む日を設置。別府スケッチ大会
の実施（各地で）

・公園、広場、交通アクセスには百円バス

・図書館と美術館が一緒になるメリットはあるかな？と思った。24 時間、人と
交流できるなどの場所があると良いのはよくわかったが、図書館である必要が
わからない。別の施設でよいのでは？図書館と美術館の話が聞きたかったのに
残念。最後の男性の質問の人の話が一番よかった。

・今の図書館は駅やバス停から遠すぎる。高齢者の利用者のことも考えて、公共

交通機関から近い場所にしてほしい。利用者が図書や美術に対して自由に語り合えるスペースも必要である。若者の利用を促進するための電子書籍を借りられるなどはどうか？

- ・大分市は恵まれて大分駅前にもホルトホールがありますが、活用がいまひとつとお話と聞いて感じました。新しくつくるよりもビーコンや市役所、公民館の改編でいろんなところでできそう。

- ・設置場所は特に重要である。学校跡地があるからということではなく、ことも必要であろうことを考える場所に設置してもらいたい。そのためには公用地（温泉プール跡地、学校跡地など）売却または変換して用地を定めてもらいたい。

- ・一体的整備とはどういうことでしょうか？その説明がないままに進められています。具体的にはどのように考えられているのでしょうか？同じ場所につくろうとしているのでしょうか？別々の場所につくけれど同時進行で考えているということでしょうか？経営は民間に委託するのでしょうか？今、民間に委託した自治体の図書館が失敗例としてたくさん取り上げられています。ぜひ私たちの税金を無駄な使われ方をしないように、市でしっかり運営していただきたい。図書館・美術館のまずは専門家、詳しい方のお話をまずはお伺いしたい。うわっぺらの飾りばかりが見せられている気がしてしまいました。自己主張できる人ばかりの場ではなく、そうでない人にとっても心地よい場になってほしいです。

- ・図書館・美術館の基本的な法律やコンセプトを大切にしてほしい。図書館・美術館を民間に任ずという危険性を知ってほしい。人が増えるということのみでなく別府市民、近隣の方々の知的好奇心が高まり、課題解決ができる知の拠点として図書館・美術館を大切にしてほしいです。図書館を24時間開館するのではなく、他の施設とつくったらどうでしょうか？今日の発言はあくまでも一人のこと。

- ・現在の図書館の閉館前の押し出し方が酷すぎ。テーブルずつ囲い押し出す（時間前に）。勤務後に図書館に行けるよう20:00頃まで開けてほしい。

・人が集まる図書館。ハードも大事。ソフト（図書館司書）

・発表者・ディスカッションなど、より年齢層を広くするべきではないか？将来、未永く使用するのは今若者だからとする考えは間違っていると思います。様々な立場、業態の人たちの意見を大切にすることがよいと感じます。結果的に、図書館と離れた会になったように感じる。

・リアル（ネットではない）意味・意義は大事にしたい。バランスが大事。

・武雄市図書館や延岡エンクロス等の公共施設運営／企画をグループで行っています。九州に根ざした地域企画会社として何かしら企画に貢献できればと考えています。大分／別府すごく魅力のある街だと感じています。

・市の図書館等の実現のポイントにある③の実際のもはどこに何があるのか？米国ボストンのまちなかの道路に染色された「スリーライン街めぐりコース」は興味深い。